

# 3 1 高等学校 商業科 問題用紙

(5枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 1 科目「ビジネス基礎」に関して、次の1～3に答えなさい。
- 1 プライベート・ブランドとはどのような商標ですか。ナショナル・ブランドとの違いを踏まえて、簡潔に書きなさい。
  - 2 代金の決済手段の一つである電子マネーの利点について、生徒に説明することとします。現金を持ち歩く必要がないということ以外に、電子マネーの利点をどのように説明しますか。簡潔に2つ書きなさい。
  - 3 ビジネス計算に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。
    - (1) 仕入原価¥ 40,000の商品に仕入原価の35%の利益を見込んで予定売価を付けましたが、予定売価の30%引きで販売しました。損失額と損失率はそれぞれいくらですか。求めなさい。なお、損失率については、パーセントの小数第1位未満を四捨五入しなさい。
    - (2) 仲立人が売り主から2.5%、買い主から2.4%の手数料を受け取る約束で商品の売買を仲介したところ、買い主の支払総額は¥ 4,157,440となりました。仲立人の受け取った手数料の合計額はいくらですか。求めなさい。
- 2 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領 商業 に関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 科目「プログラミング」 3 内容の取扱い (1) ア には、「指導に当たっては、アルゴリズムやプログラミングに関する知識と技術を実習を通して習得させること。」と示されています。「アルゴリズムやプログラミングに関する知識と技術を習得させる」ためには、どのような実習が考えられますか。簡潔に書きなさい。
  - 2 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 2 には、各科目の指導に当たっての学習の効果を高めるための配慮事項が示されています。どのような内容ですか。簡潔に書きなさい。
- 3 マーケティングに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 市場調査の方法の一つに、テキストマイニングがあります。テキストマイニングとはどのような手法ですか。簡潔に書きなさい。
  - 2 デファクト・スタンダードとはどのようなものですか。デファクト・スタンダードが確立される過程を踏まえて、簡潔に書きなさい。
- 4 ビジネス経済に関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 金融・資本市場をとりまく環境の変化に対応するため、平成18年6月に金融商品取引法をはじめ、「金融商品取引法制」を整備する改正が行われました。この改正に当たり、金融庁が示した克服すべき課題はどのようなことでしたか。利用者の視点、市場の視点、国際化の視点から、それぞれ簡潔に書きなさい。
  - 2 次の文章は、需要の価格弾力性及び需要量の変化率に関するものです。文章中の(a)・(b)にあてはまる数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。下のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(5枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 5 次の資料は、平成〇5年度のA社及びB社の貸借対照表、損益計算書を示したものです。下の1～3に答えなさい。

資料 (単位：千円)

A社		貸借対照表	
流動資産	53,500	流動負債	49,500
固定資産	64,000	固定負債	6,000
		純資産	62,000
	<u>117,500</u>		<u>117,500</u>

A社		損益計算書	
売上高			78,000
売上原価			41,500
売上総利益			36,500
販売費及び一般管理費			15,000
営業利益			21,500
営業外収益			4,000
営業外費用			3,000
経常利益			22,500

B社		貸借対照表	
流動資産	160,500	流動負債	84,000
固定資産	171,000	固定負債	7,500
		純資産	240,000
	<u>331,500</u>		<u>331,500</u>

B社		損益計算書	
売上高			165,000
売上原価			86,000
売上総利益			79,000
販売費及び一般管理費			5,500
営業利益			73,500
営業外収益			1,500
営業外費用			500
経常利益			74,500

- 1 A社及びB社の財務比率を計算することとします。次の表の(1)～(6)の財務比率について、それぞれ計算しなさい。ただし、総資本回転率以外については、パーセントの小数第1位未満を四捨五入することとし、総資本回転率については、小数第1位未満を四捨五入することとします。また、純資産を自己資本とみなし、計算に当たっては期末残高を用いることとします。

	A社	B社
総資本経常利益率	(1) %	%
売上高経常利益率	%	(4) %
総資本回転率	(2) 回	回
流動比率	(3) %	%
固定比率	%	(5) %
自己資本比率	%	(6) %

- 2 総資本経常利益率を分解して、利益率の原因分析をすることとします。総資本経常利益率を2つに分解する場合、売上高経常利益率と何に分解することができますか。財務比率名を書きなさい。
- 3 A社及びB社の財務諸表分析をすることとします。財務諸表分析について述べた、次のア～エのうち、最も適切なものを1つ選び、その記号を書きなさい。

ア 売上高経常利益率で両社を比較した場合、A社の数値が高いため、A社の方が収益性に優れていると判断できる。

イ 売上高総利益率とは、売上総利益に対する売上高の割合を表すものであり、この比率が高いほど利幅が大きいことを示す比率である。両社を比較した場合、A社の数値が高い。

ウ 流動比率は、即座の支払能力を判断するために用いられる比率である。両社を比較した場合、B社の数値が高いため、B社の方が即座の支払能力に優れていると判断できる。

エ 固定長期適合率で両社を比較した場合、B社の数値が低いため、B社の方がより望ましい状態であると判断できる。

# 3 1 高等学校 商業科 問題用紙

(5枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 6 新規に導入予定の生産設備について、A案とB案の2つの投資案を検討することとします。A案とB案の2つの投資案について原価比較法を用いて比較した場合、どちらの投資案を採択すべきですか。その記号を書きなさい。また、その投資案を採択する理由を簡潔に書きなさい。ただし、両案の設備においては、年間の生産能力には差はないこととします。また、定額法による減価償却(残存価額はゼロ)を行い、設備投資額の調達は、すべて銀行からの借入れ(年利3%)によるものとします。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 7 ビジネス情報に関して、後の1～3に答えなさい。

- 1 次の表は、ある会社の商品を各倉庫から各店舗へ輸送する際の商品1個当たりの輸送費を示しています。倉庫A・倉庫Bにある在庫の全量を店舗C・店舗Dに輸送することとします。倉庫A・倉庫Bの在庫量がそれぞれ70個、30個、店舗C・店舗Dの必要量がそれぞれ40個、60個であるとき、最小となる総輸送費は何万円ですか。求めなさい。

[単位: 万円/個]

	店舗C	店舗D
倉庫A	8	4
倉庫B	4	2

- 2 ある会社が関係データベースで社員の情報を管理していることとします。次の図1は、“部署”表及び“業務”表を示したものです。“部署”表、“業務”表及び“社員”表を結合して、下の図2のA表を作成しました。結合した“社員”表はどれですか。下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。なお、ここでは下線は主キーを示し、破線は外部キーを示しています。

図1

部署

<u>部署コード</u>	部署名
--------------	-----

業務

<u>業務コード</u>	業務名
--------------	-----

図2

A

<u>社員コード</u>	社員名	業務名	部署名	勤務年数
--------------	-----	-----	-----	------

ア 

<u>社員コード</u>	社員名	勤務年数
--------------	-----	------

イ 

<u>社員コード</u>	社員名	勤務年数	<u>業務コード</u>
--------------	-----	------	--------------

ウ 

<u>社員コード</u>	社員名	勤務年数	<u>部署コード</u>
--------------	-----	------	--------------

エ 

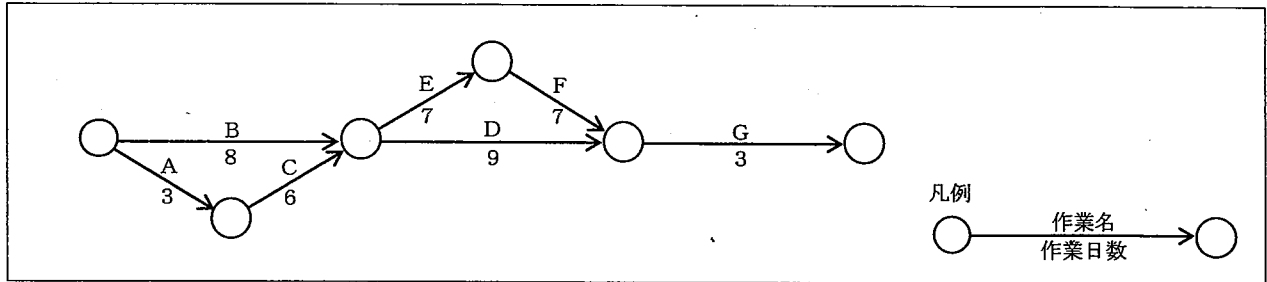
<u>社員コード</u>	社員名	勤務年数	<u>部署コード</u>	<u>業務コード</u>
--------------	-----	------	--------------	--------------

(5枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

3 次の図は、ある仕事の作業工程と各作業に必要な日数を表したアローダイアグラムを示したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。



- (1) この仕事が完了するまでにかかる最短の所要日数は何日ですか。求めなさい。
- (2) 作業Bに障害が発生して3日遅れて完了した場合、全体の遅れを1日におさめるためには、どの作業を何日短縮すればよいですか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。
- ア 作業Aを1日短縮する。
  - イ 作業Cを2日短縮する。
  - ウ 作業Dを2日短縮する。
  - エ 作業Eを1日短縮する。

# 3 1 高等学校 商業科 問題用紙

(5枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 8 科目「総合実践」において、「民法上の相続人及び法定相続分」に関する理解を深めさせることを目的として、次の問題を出題しました。ある生徒に解答を書かせたところ、その解答には誤りがありました。下の1～3に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 民法上の相続人及び法定相続分の組み合わせとして正しいものはどれですか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。  
ア 洋子 1/4 正一郎 1/4 雅子 1/4 奈美 1/4  
イ 洋子 1/2 正一郎 1/4 雅子 1/4  
ウ 洋子 1/2 正一郎 1/4 奈美 1/4  
エ 洋子 2/3 正一郎 1/6 奈美 1/6
- この生徒の解答について生徒本人と話をしたところ、民法上の相続人及び法定相続分に関する理解が不足していることがわかりました。あなたは、この生徒に対して、どのようなことを指導しますか。「親族関係図」を基に、具体的に書きなさい。
- 相続については、法律で定められた相続人及び相続分による方法以外に、遺言による方法があることを生徒に理解させることとします。公正証書遺言の特徴について、どのようなことを生徒に指導しますか。自筆証書遺言との違いを踏まえて、簡潔に書きなさい。

31

高等学校 商業科 解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	1		
	2		
	3	(1)	損失額 ¥
		損失率	[%]
(2)		¥	
2	1		
	2		
3	1		
	2		

31

高等学校 商業科 解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
4	1	利用者の視点	
		市場の視点	
		国際化の視点	
	2		
5	1	(1)	[%]
		(2)	[回]
		(3)	[%]
		(4)	[%]
		(5)	[%]
		(6)	[%]
	2		
	3		

31

高等学校 商業科 解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
6	記号	[案]		
	理由			
7	1	[万円]		
	2			
	3	(1)	[日]	
		(2)		
8	1			
	2			
	3			